あつぎ郷土博物館NEWS 9月号

企画展 デビュー100年「和田 傳」再発見

残り —今^{・みがえ}る あつぎの明治·大正·昭和を生きた作家の真実—

わずか!

和田傳の魅力を味わい尽くす



開催中の「和田傳」展は、もうご覧いただけましたか。展示会は9月18日(月・祝)までの開催ですが、展示を通して「名前しか知らなかった和田傳がどんな人かわかってよかった」というお声も多くいただいています。

さて、展示会のポスターに描かれた「ピンクの少年」「黄色の風景」「青い眼鏡の老人」、これらが何を描いたものかはお分りでしょうか。チラシ等ではお気づきになりにくいかもしれませんが、博物館入り口の横断幕では、これが大きくプリントされ、お顔も全面がじっくり鑑賞いただけます。

眼鏡の老人が晩年の和田氏であることは言わずもがなですが、ピンクの少年は青年期の和田氏、黄色い風景はそれぞれが見たであろう厚木の景色がイラストレーター・スソアキコさんの手で丁寧に描かれています。是非ともご覧いただきたいところです。

館内では、ホール展示で「山の奥へ」の頃から綿々と人々が使用してきた実際の農具を見、年表で和田氏と厚木をめぐる時間の流れを感じ、展示室では和田氏の生きざまと著作物を体感する。ポスターのもとになった写真を探していただくのも楽しいかもしれません。

会期も残り少なくなっています。是非この機会に和田傳の魅力を再発見していただきたく、ご来館をお持ちしています。

●会 期:令和5年9月18日(<mark>月·祝</mark>)まで ●**入館料**:無 料

*9月10日(日) 14時から スペシャルギャラリートーク <u>参加自由!!</u>

文化財保護課(博物館) 9月の予定

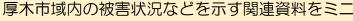
日曜日 行事内容 講師等 時間

郷土の作家から探る厚木の姿 「和田傳展」9月18日まで 9月10日(日)、18日(月)、ギャラリートーク14時から実施!

NE	2	2 土 「鰯 雲」上映会 保健福祉センター6階ホール ください			14:00 ~16:30
NE	9	±	実習生によるギャラリートーク 「厚木」 学芸員の卵たちが深掘りする厚木の魅力!	博物館実習生	14:00 ~15:00
NE	10	В	スペシャルギャラリートーク「和田 傳」	吉田隆一(厚木文化財協会会員)	$14:00 \\ \sim 14:30$
	14	木	あつぎの古文書解読会 _{参加自由}	古文書解読会	13:00 ~16:00
ME	16	H	ワークショップ 和綴本を作る 参加自由	当館学芸員	14:00 ~16:00
	21	木	あつぎの古文書解読会 _{参加自由}	古文書解読会	13:00 ~16:00
ME	24		収蔵資料から 逸品紹介 参加自由	当館学芸員	14:00 ~14:30
	25	月	休 館 日		
	28	木	あつぎの古文書学習会 _{参加自由}	古文書解読会	13:00 ~16:00

「100年前の大地震とあつぎ」 9/24まで

今年は、大正 12年(1923)9月1日に起きた関東大震災から 100年、節目の年です。関東大震災は、東京都内の被害が大きく取り上げられますが、相模湾北部を震源とする大きな揺れと、火災、津波、土砂崩れなどによって神奈川県各所にも甚大な被害が出ています。厚木市域内では、厚木町の被害が特に大きく、1008戸あった家屋の内、半数以上の549戸が倒壊、さらに251戸が火災により焼け落ちています。



展示「100年前の大地震とあつぎ」として展示しています。ぜひご覧ください。

●あつぎ郷土博物館 **開館時間** 午前9時から午後5時まで(入館は午後4時30分まで)

休 館 日 毎月最終月曜日 年末年始(12/29~1/3)

開館時間 午前10時から午後5時まで(入館は午後4時30分まで) 休 館 日 月曜日と火曜日(祝日の場合は翌平日) 12/25~1/3



●古民家岸邸

(申込み・問合せ) あつぎ郷土博物館

〒243-0206 厚木市下川入1366-4 電話 046-225-2515

Mail 8650-3@city.atsugi.kanagawa.jp

FAX 046-246-3005